
ぼくらパンツ脱がせ隊

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぼくらパンツ脱がせ隊

【Nコード】

N2879K

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

警告がきたらノクターンの方に移動させる予定です。

六年一組の仲良し三人組。たけし。きよし。こけし。三人はクラスでもやばいほどのエロガキ。女を見ると、すぐにひっくり返してパンツを脱がすのだ。先生も犠牲になつたし、クラスの女子も犠牲になつてゐる。山本くんのおばあさんもおむつをとられて、山本くんは泣いていた。

まあ子供だと思つて油断していたんだね。三人は警察に連れて行かれた。

警察も油断をしていた。

なんと取調室で、五十歳の刑事西本のおやつさんが三人にズボンを脱がされ、トランクスを取られてしまったのだ。西本のおやつさんは油断していたつてわけ。まさか子供がこんなに腕力があるとは。西本のおやつさんは肛門丸出しの後ろ姿を写メに撮られ、今度ボクたちを逮捕したら、この写真ブログに載せちゃうよと脅された。にしもつさんにも女房子供がいる。言うことを聞くしかなかった。それから三人はやりたい放題さ。女子から奪つたパンツを棒にくくりつけ旗にして街を練り歩く。

「ぼくらつ愉快的な脱がせ隊。陽気なパンツ脱がせ隊。ららら」
街ゆく人々、パンツを脱がされるのが怖くてツツコめない。

まあパンツ屋はもうけたね。というより三人とパンツ屋はグルだつたんだ。

「はい。おねえさん。パンツ三枚」

「ぐっふふ。これでまたパンツが売れるぞ。しかも、たけちゃんたちが持ってきたパンツを洗って売ればコスト削減でばるもうけた」

「ええつたつたの300円？」

「文句言わないの。まだ小学生でしょ！」

「頭きた。おい。きよし。こけし。おねえさんを押さえる」

「がつてん。たけちゃん」

「いやあああああ」

たけしはパンツを脱がせた後、罰としておねえさんを浣腸した。

「いてえええええ」

おねえさんは失神。たけしの指はうんこまみれ。

「うわあたけちゃん。きたねえ」

「くさい。こつち来るな」

たけしは泣きそうだ。

「な、なんだよ。ボクラ仲良し三人組だろ？」

「うんこマン。こつち来るな」

「うんこ星に帰れ」「むきーっ」

たけしは腹を立て、こけしときよしのズボンを脱がせ、パンツを奪いビリビリに破いた。

腹を立てたこけしときよしはたけしのズボンを脱がせ、パンツを奪いライターの火で燃やした。

フリチンの三人。そう。彼らはパンツを脱がせることに関してはエキスパートだったけど、パンツを守ることに関しては素人だったんだ。

「うわーん」

「うわーん」

前代未聞のことだったので三人とも泣き出してしまったよ。股間、寒い。

目が覚めたおねえさんはその様子を発見し、可哀想になってきて、女用のセクシーなパンティを三人にあげた。

その日、三人はおしっこすんのに少し手間取った。窓がついてないからね。

でもくじけない三人。

「だってボクラはパンツ脱がせ隊。明日も明後日もパンツ脱がすぞ。日本の未来のために。えいえいおー」

パンツ脱がせ隊の使命は読者を笑わすこと。笑わせて日本を明るくすること。

被害者は泣いてるけどね！

翌日、六年一組に、ブラジャー取りの名人、パイ五郎が転校してきた。

つづく??? (汗)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2879k/>

ばくらパンツ脱がせ隊

2011年1月28日02時51分発行